

Open abdominal management (OAM) における治療成績、予後因子解析

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

腹部開放管理 (Open Abdominal Management ; OAM) は、腹部外傷診療に必須の手技であり、最近では、外傷以外でも有用性への理解が深まり、内因性腹部救急疾患や術後合併症診療にも応用されています。当院での OAM の治療成績と早期死亡予測因子を後方視的に検討し、実臨床における治療方針の礎をつくることを目的に本研究を行います。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2011 年 1 月～2022 年 9 月に当院で OAM を受けられた方

使用する試料・情報

症状、病名、年齢、身長・体重、既往疾患、意識状態、臨床検査値、手術関連データ、病理組織診断、転帰、死因、術後合併症など

研究予定期間

2022 年 10 月 31 日～2023 年 09 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 外科部長代行 富安真二郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 外科 富安真二郎

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)